

11月13日 河西郡芽室町 風の子めぐる

(芽室町子どもの居場所づくり推進事業)

★小学生から高校生までの子どもたちが「遊ぶ・食べる・学ぶ」ができる居場所として、今年1月にスタート。訪問時は10名ほどの小中学生が参加し、学生は学習支援ボランティアと勉強、小学生は食卓を囲みました。高校生は小生に人気で、おそび相手となり、頼れる存在です。オールめぐるの子育てが進められています。



▲運営団体WEWでかち代表の若菜順さんと

8月31日 広島県広島市 広島ボールパークタウン 整備事業

(三次(みよし)市妊娠・出産・子育て支援センター)

★ボールパークタウンは広島市民球場（マツダスタジアム）を中心に、大型商業施設やスポーツクラブ、婚礼施設、分譲マンションなどで構成されています。球場の用地取得・建設費の償還財源は、カープ球団・マツダ野球等の使用料で償還。球場の大規模修繕費用の財源はスタジアム命名権収入で確保しています。



8月30日 広島県三次市 ネウボラみよし

(三次(みよし)市妊娠・出産・子育て支援センター)

★三次市では子育ての不安や負担を軽減するため、切れ目ない母子保健と子育て支援が一体となった「ネウボラみよし」を今年度から開設しています。市庁舎内の拠点とサテライト2カ所を設置。対象は妊娠前から18歳までの子どもがいる家庭で、不妊治療・不育治療の費用の助成も充実しています。



▲三次市は人口約270人で、出生数は340人（2017年）、高齢化率は25.2%と高いが、子育て支援に力を入れている

田辺ゆづ子と鶴谷せとみの視察報告

活動報告

市民ネットワークは、福祉・子育て・環境・まちづくりなどの地域の課題解決に向けて活動しています



全国シエルトーナシンプозиウム2018in札幌

女性や子どもに対する暴力のない社会をめざし、官民が連携し、地域を越えたネットワークで、法整備や支援システムの構築について議論するシンプозиウムが札幌市で開催されました。



11/4

全国から民間シエルトーナを運営する支援団体や弁護士、議員などが参加し、海外での現状報告やあらゆる暴力の根絶に向けたルールづくり、被害者支援のノウハウ、DV予防教育など貴重な情報を学ぶことができました。

給食試食会から給食についての要望書提出へ

学校給食は子どもたちの成長にとって重要です。小さなお子さんを持つ保護者のみなさん呼びかけ、給食試食会を開催。小学校給食センターの運営状況や2023年完成予定の新センターについて意見交換しました。



10/2

▶西の里中学校給食調理場で試食会。小学校給食センターでの試食会は7月に開催。

「きたひろるグラーパーク」(会場 緑葉公園)

冒険遊び場「グラーパーク」に参加。台風、地震後の開催のため安全確認は特に念入りしました。広い場所で子どもたちのびのび遊ぶことができました。



9/16

ボールパーク建設予定地 自然観察会

北広島は身近に自然がいっぱい ～100年先まで残したい～

北海道日本ハムファイターズのボールパーク構想の建設地が北広島市に決まり、5年後には、多くの人々が球場を訪れることとなります。ボールパーク周辺は、貴重な野生生物が生息する自然環境豊かな場所です。また、渋滞緩和のために新設されるアクセス道路は、特別天然記念物野幌原始林に隣接する林地を通過します。そこで、先人たちが守り続けてきた北広島の自然環境を再認識しようとして、自然保護監視員の森下徹さんを講師に、現地の観察会を行いました。クマゲラの餌採り跡やエゾサンショウウオの棲む水辺を発見し、参加者からは、生態系を守り、自然と共存するボールパークになつてほしいと声があがりました。



7/8

さとの コービー タイム



★地震による停電中は、照明の代わりにペットボトルと懐中電灯で工夫した灯りの中、家族でボードゲームをして過ごしたり、満天の星空を見上げた。フラックアウトを体験し、災害を「自分ごと」として実感しました。自然の恩恵を受ける一方で、近年は気温上昇、ゲリラ豪雨、大型台風など、気候変動が進んでいます。日頃から減災の備えとともに環境を守ることにについて、家族で、地域で取り組みたいです。



第4回

定例会のご案内

会 期：11/30～12/21
一般質問：12/11～14

市民ネットワーク
北海道
ホームページ

